



2026年3月期第3四半期 決算説明資料

株式会社LITALICO

[証券コード：7366]



本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。

実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる見通し情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

連結決算概要	4
中期方針	8
業績予想	14
事業報告	18
参考資料	33

連結決算概要

Consolidated Financial Results

IFRS

(単位：百万円)

	FY2024 Q1-Q3	FY2025 Q1-Q3	前年比
売上収益	23,679*	28,204*	+ 19.1%
営業利益	2,021*	3,182*	+ 57.5%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	1,384	1,683	+ 21.6%

*FY2024,FY2025ともにIFRS第5号に基づき非継続事業を除いた数値

IFRS

(単位：百万円)

		FY2024 Q1-Q3	FY2025 Q1-Q3	前年比
就労支援	売上収益	9,406	10,441	+11.0%
	セグメント利益	3,445	3,236	-6.1%
児童福祉	売上収益	6,209*	7,903*	+27.3%
	セグメント利益	-518*	402*	+920百万円
プラットフォーム	売上収益	3,337	4,066	+21.8%
	セグメント利益	1,045	1,396	+33.6%
海外	売上収益	1,921	2,793	+45.4%
	セグメント利益	494	666	+35.0%
その他	売上収益	2,807*	3,001*	+6.9%
	セグメント利益	336*	283*	-15.7%

*FY2024,FY2025ともにはIFRS第5号に基づき非継続事業を除いた数値

連結業績

- 売上282億円（前年同期比+19%）、営業利益31.8億円（前年同期比+57%）、四半期利益16.8億（前年同期比+21%）
- 来期以降に向けた人員採用やマーケティング投資を実行、業績予想は据え置き
- 合計8億円の自己株式の取得を完了、上限5億円で追加取得を予定
- 非継続事業からの四半期損失を1.85億円計上

就労支援

- FY2025は計画通り2施設を開設
- FY2024の施設開設の影響及び既存施設の稼働率向上により増収、マーケティング投資や人材育成施策、企業文化強化の取り組み等の投資を実行。下半期も来期以降の新規開設に向けた人材の採用等も含め、投資を継続。FY2026は20施設以上の開設を計画
- 就職者数は1,964人。就職者数が引き続き高水準で推移し順調

児童福祉

- 短時間中心の支援プログラムへの回帰で施設稼働率は安定化し、計画通り増収増益
- 施設開設は順調に進捗、Q3で18施設を開設。企業文化強化の取り組み等の投資を実行
- FY2025は採用が順調に進捗したため、19施設を開設予定（従来計画は18施設）

プラットフォーム

- 新規の契約事業所獲得ペースは順調に加速
- 営業力強化の投資を行いつつ収益性を改善

海外

- 昨年子会社化したDDCNが通年で寄与、業績は安定して推移、計画に対しては順調
- より緊急支援が必要な方々を対象にした施設の開設に向けた追加投資を2025年5月に決定、FY2025中の営業開始にむけ進捗中

その他

- 各事業の売上は堅調に推移、新規事業開発への投資を積極的に継続

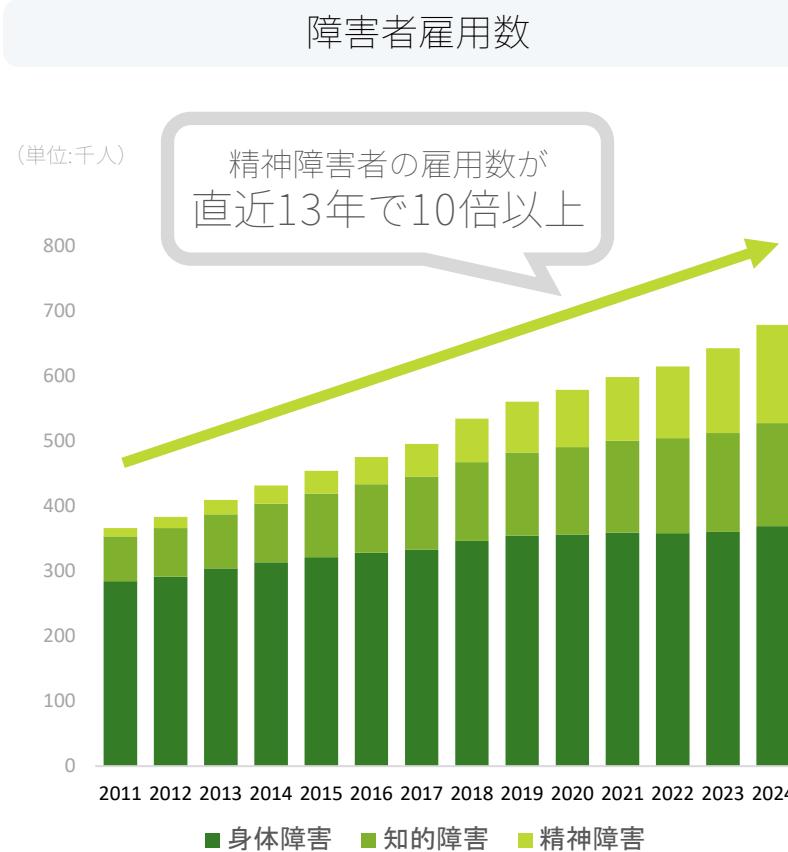
中期方針

Midterm Strategy

障害のない社会をつくる

障害は人ではなく、社会の側にある
社会にある障害をなくしていくことを通して
多様な人が幸せになれる「人」を中心の社会をつくる

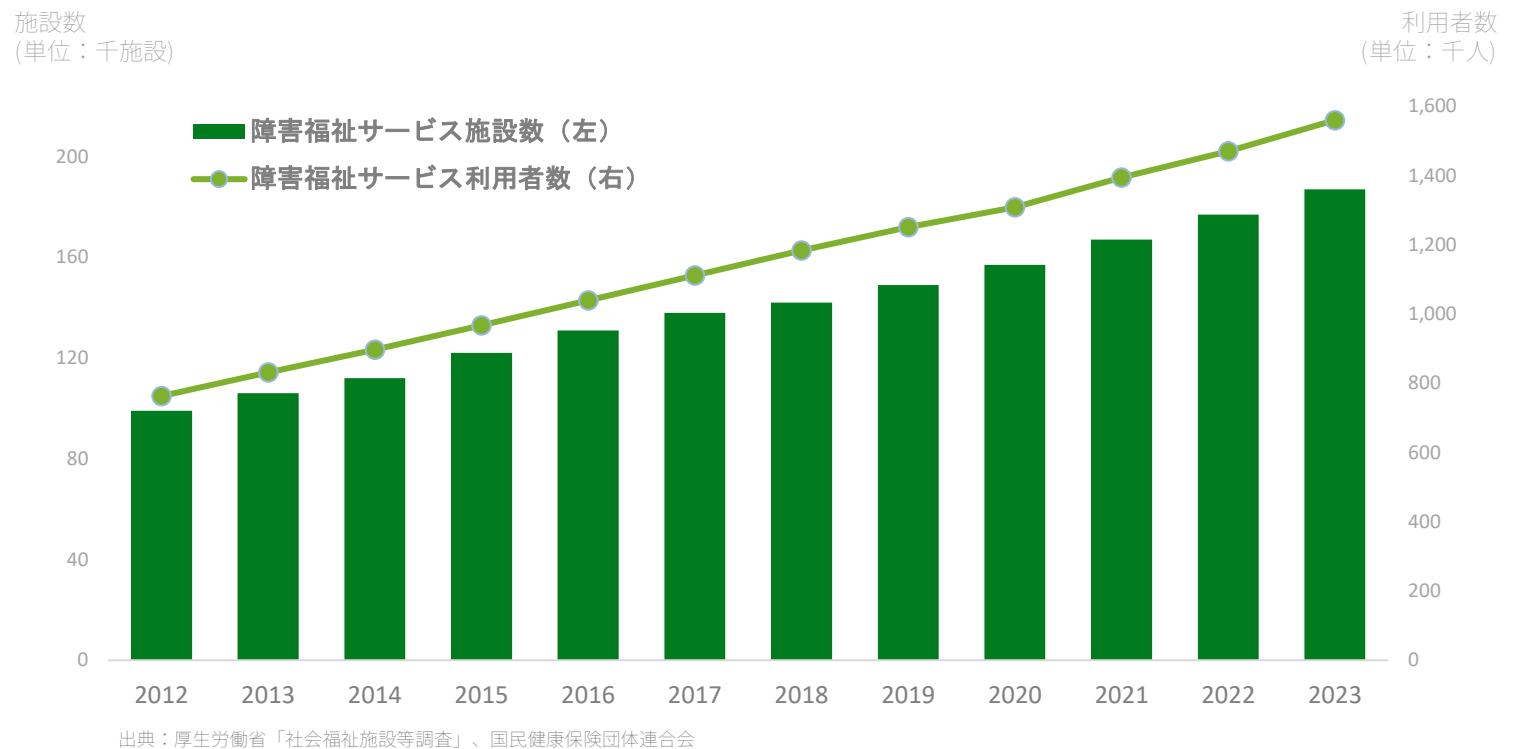
- 障害者雇用数は増加傾向、法定雇用率は2.5%。法定雇用率は今後段階的に2.7%まで上昇



出典：内閣府「障害者白書」

出典：厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」

障害福祉サービス利用者数・施設数の推移



▶ 障害福祉サービスの利用者数と施設数は年々増加し、社会的なニーズが高まっている。それに伴い、障害福祉予算（国及び自治体予算の合計）は年間4兆円で年率8%で増加

LITALICOの事業展開

障害のある方の一生を支える事業展開

Education

教育



- ・早期発見
- ・診断
- ・教育と療育

B to C

直接支援事業

障害のある方の一生を
サポートするサービス群



Vocation

就職



- ・社会参加



Lifestyle

生活



- ・住まい
- ・医療
- ・資産管理

B to B

プラットフォーム事業
障害のある方・福祉従事者・
福祉事業者向け
プラットフォームサービス群



障害者の支援で世界No.1

企业文化の一貫性を再強化

- 企业文化の強化や人材育成へ継続的投資
- マルチブランド展開ではなく、LITALICO ブランド中心に事業を展開

中長期での価値最大化

- 中期開設計画は取り下げ、中長期での開設最大化に向け、FY2025は一時的に開設数を制限し今後の開設ペース加速に向け内部体制を強化
- 新サービスや新規事業への投資は積極的に継続

積極的な事業投資と株主還元の両立

- 積極的な成長投資は継続しつつ、安定的な利益成長に伴う株主還元策の強化を実施
- 安定的な増配の継続に加えて自己株式取得を予定
- 2024年7月に決定した第三者割当による新株予約権は取り下げ

業績予想

Financial Forecast

- 就労支援は内部体制強化を図るため、一時的に開設数を制限し、2施設を開設予定。サービス価値向上への投資も実施予定
- 児童福祉は19施設を開設予定。Q1は開設費用等が集中するが、Q2以降は黒字化予定
- プラットフォームは好調につき引き続き営業力及びプロダクト開発強化に投資
- 海外事業は当面ネブラスカ州で強度行動障害者向けサービス拡大・ラインナップ強化を進める
- 新規事業開発も積極的に実施予定
- 期末配当予想は11円。自己株式取得は8億円で実施済み、上限5億円で追加実施予定

IFRS

(単位：百万円)

	FY2024 実績	FY2025 業績予想	増減率 (昨年対比)
売上収益	33,214*	36,500	+ 9.9%
営業利益	3,477*	4,000	+ 15.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,402	2,500	+ 4.1%
期末配当	9円	11円	+ 22%

継続事業からの
当期利益の比較
では+13.6%

*IFRS第5号に基づき非継続事業(2025年3月末に連結対象から外れた株式会社nCS)を除いた数値

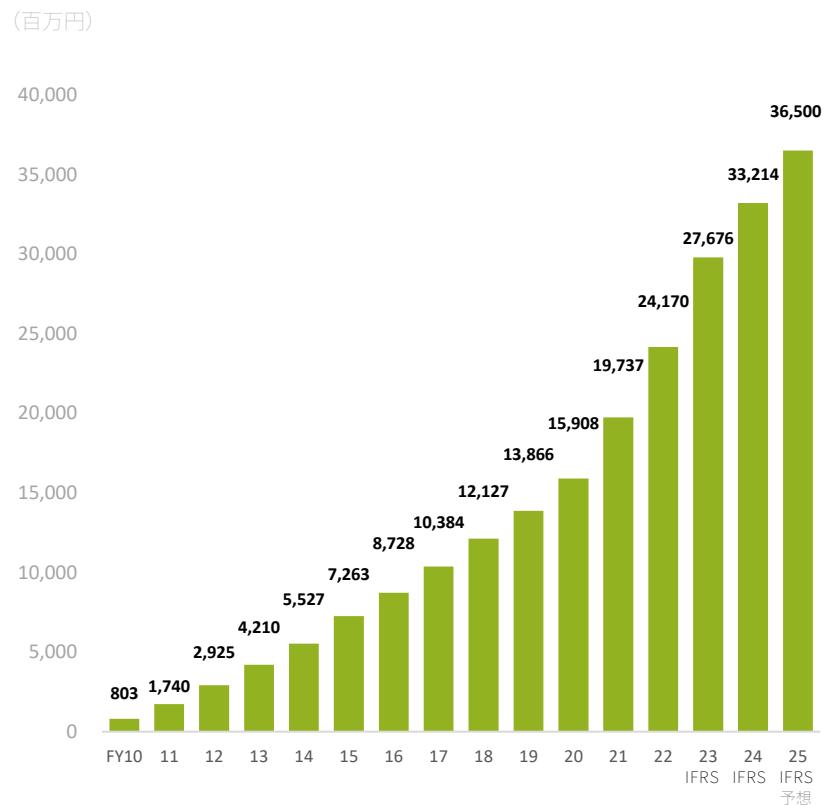
資本効率の向上及び株主還元を図るために自己株式取得を追加的に決定

1. 取得する株式の種類：当社普通株式
2. 取得する株式の総数：500,000株（上限）発行済株式総数に対する割合1.4%
3. 株式の取得価格の総額：500百万円（上限）
4. 取得期間：2026年1月27日～2026年3月31日
5. 取得方法：取引一任契約に基づく東京証券取引所における市場買付け

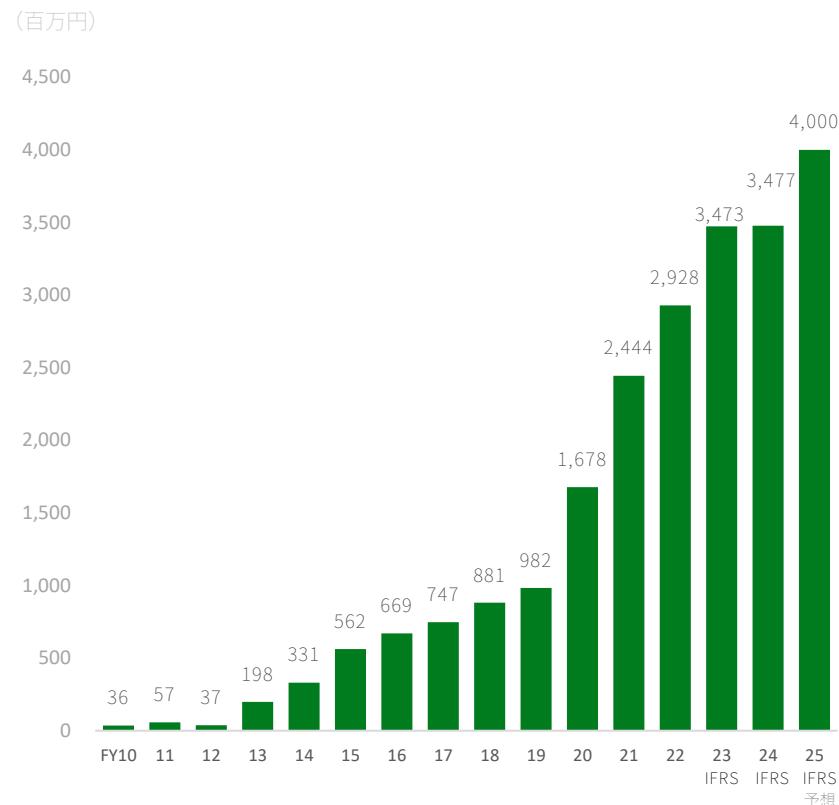
なお、FY2025において自己株式の取得は12月11日時点で616,400株（800百万円）を取得完了しております。

- 13期連続の増収増益を計画

売上収益



営業利益



事業報告

Business Results

LITALICOの事業セグメント

就労支援



児童福祉



(スタンダードコース)

プラットフォーム



海外



その他



(パーソナルコース)



LITALICOの事業セグメント

就労支援



児童福祉



(スタンダードコース)

プラットフォーム



かんたん
請求ソフト

かんたん
介護ソフト



海外



その他



(パーソナルコース)

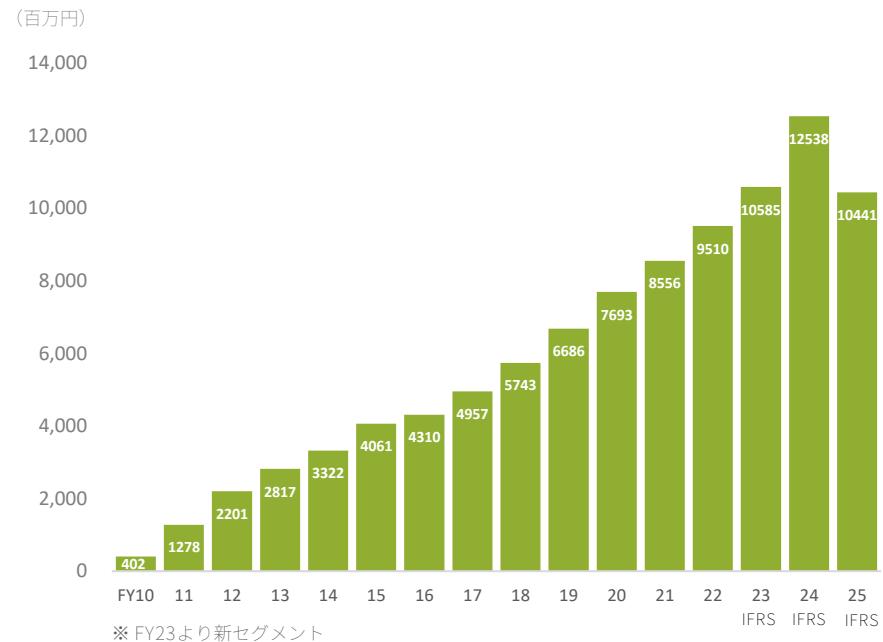




- ・計画通り2施設を新規に開設。施設数: 163施設 (LW: 158, HG: 5)
- ・FY2024の施設開設の影響及び既存施設の稼働率向上により増収、マーケティング投資や人材育成施策、企業文化強化の取り組み等の投資を実行。下半期も来期以降の新規開設に向けた人材の採用等も含め、投資を継続。FY2026は20施設以上の開設を計画
- ・上半期の就職者数は1,964人となり引き続き高水準で推移

*LW=LITALICOワークス、HG=ヒューマングロー

就労支援事業の売上推移



LITALICOグループ施設展開



LITALICOの事業セグメント

就労支援



児童福祉



(スタンダードコース)

プラットフォーム



かんたん
請求ソフト

かんたん
介護ソフト



海外



その他



(パーソナルコース)



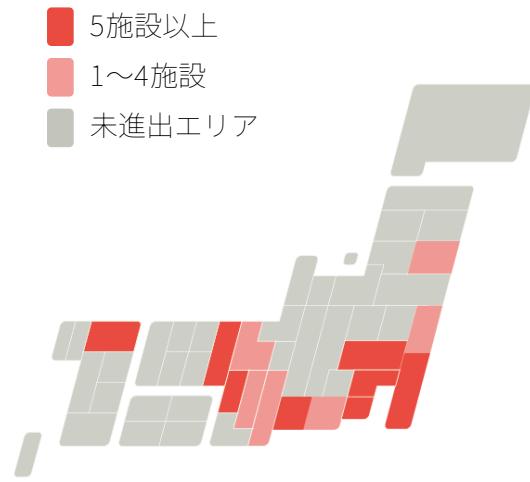


- ・短時間中心の支援プログラムへの回帰で施設稼働率は安定化し、計画通り增收増益
- ・施設開設は順調に進捗、Q3で18施設を開設、施設数は185施設
- ・企業文化強化の取り組み等の投資を実行
- ・FY2025は採用が順調に進捗したため、19施設を開設予定（従来計画は18施設）

児童福祉事業の売上推移



LITALICOグループ施設展開



LITALICOの事業セグメント

就労支援



児童福祉



(スタンダードコース)

プラットフォーム



かんたん
請求ソフト

かんたん
介護ソフト



海外



その他



(パソコンコース)



- ・利用者/従事者向けのマッチングメディア、施設向けDX支援のSaaS事業を展開
- ・現在は障害福祉、学校・保育園、介護領域にてサービスを展開
- ・提供プロダクトを順次拡充、より高付加価値のサービスを展開
- ・施設運営情報など、あらゆるデータの集約・活用を通じて業界全体の品質向上に貢献



障害福祉施設（国内18万件）



請求・運営支援



教育研修支援



ファクタリング



集客支援



採用支援



学校・保育園（国内7万件）



教材研修支援



計画作成システム



介護施設（国内30万件）



請求・運営支援

LITALICO
発達ナビ

LITALICO
仕事ナビ

LITALICO
キャリア

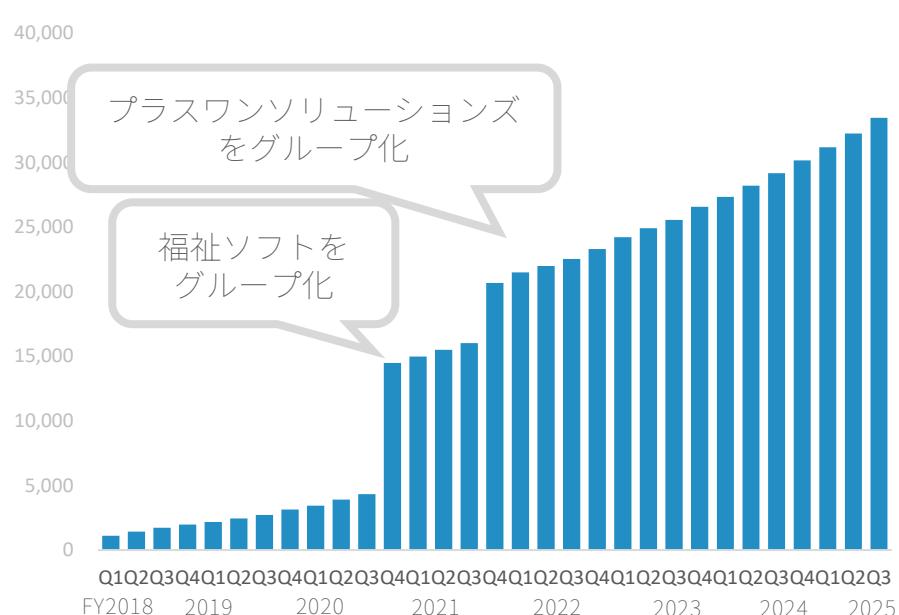
NnOne
NursingNet Plus One

かんたん
請求ソフト

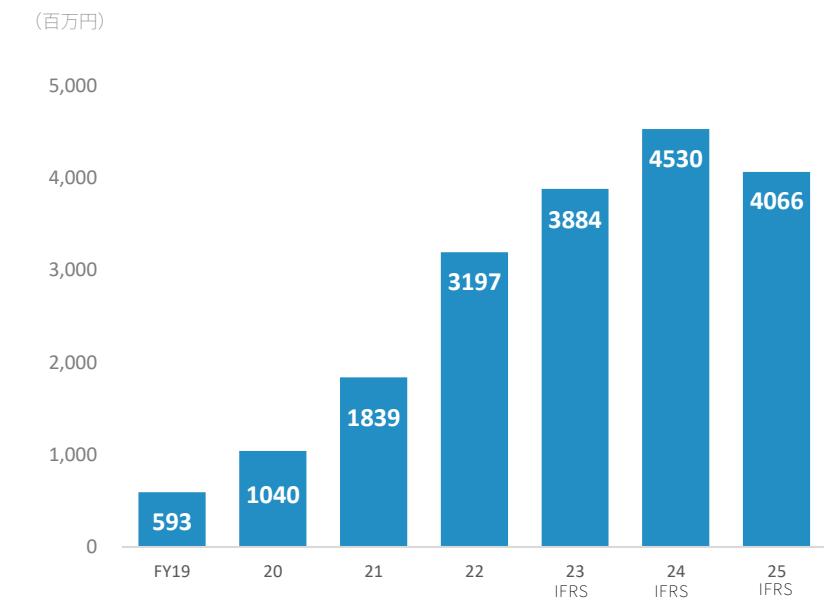
かんたん
介護ソフト

- FY2025Q3末の契約事業所数は33,448施設。新規の獲得は順調
- 引き続き営業力強化をし、契約事業所獲得ペースを加速する方針

プラットフォーム事業の定額課金契約事業所数



プラットフォーム事業の売上推移



※2021年1月末より福祉ソフト株式会社のグループ化、2022年3月末よりプラスワンソリューションズをグループ化
※別途成約課金で契約している事業所もあり

LITALICOの事業セグメント

就労支援



児童福祉



(スタンダードコース)

プラットフォーム



かんたん
請求ソフト

かんたん
介護ソフト



海外



その他



(パーソナルコース)





LITALICOの米国における展開方針

- ・日本同様に、当事者と家族に向けた包括的なB-Cサービスを展開する方針
- ・米国ネブラスカ州の強度行動障害者向けに有数の支援実績を有するDDCN社において展開
- ・海外事業は当面ネブラスカ州で強度行動障害者向けサービス拡大・ラインナップ強化を進める
- ・2025年5月に、より緊急支援が必要な方々を対象にした施設の開設に向けた追加投資を決定、FY2025中の営業開始にむけ進捗中

海外セグメントの業績推移

(単位：百万円)

	FY2024	FY2025 Q1-Q3
売上収益	2,840*	2,793
セグメント利益	755*	666

*FY2024は9ヶ月実績

LITALICOの事業セグメント

就労支援



児童福祉



(スタンダードコース)

プラットフォーム



かんたん
請求ソフト

かんたん
介護ソフト



海外



その他



(パーソナルコース)



- 昨年同期比で7%増収



福祉サービスの受給者証がなくても利用できる発達障害児童向けの教室。短期集中型で手厚い指導を行うモデルにて展開。FY2025は1施設開設



一人ひとりがう興味や課題に合わせた情報提供及びライフプラン設計を支援するオンラインセミナーや面談を展開

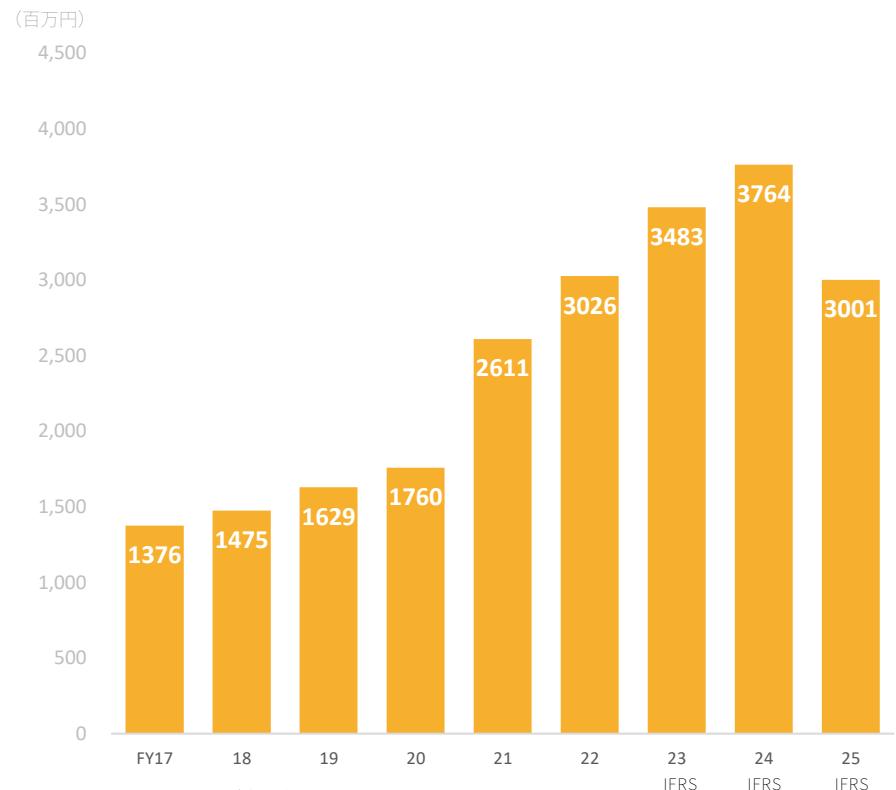


ゲーム作りやロボット製作を通じて子どもの創造性を伸ばす児童向けプログラミング教育を教室とオンラインにて展開。FY2025は1施設開設

新規事業群

- LITALICOレジデンス
- LITALICO高等学院

売上推移





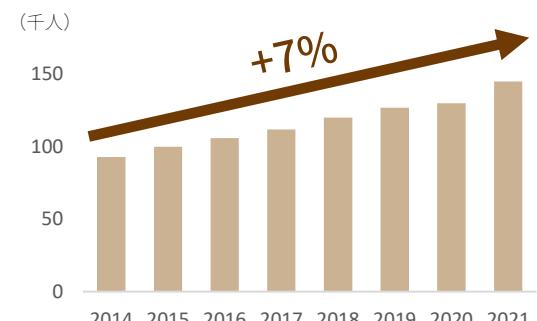
▶今後も障害のある方の一生をサポートする事業を拡充していく方針

- ・重度障害者向けグループホーム「LITALICOレジデンス井の頭公園」を25年5月に開設
- ・特に重度障害者向けのグループホームは都市部において数が不足。背景に、建物や十分な支援ノウハウを有するスタッフの確保が困難なことなど
- ・定員10名は満員、FY26は4施設開設予定。

グループホームとは

- ・障害者総合支援法で定められた障害者福祉サービス
- ・障害のある方が、個々に作成されたケアプランに沿って常駐する世話人や生活支援員から介助やサポートを受けて共同生活を営む住宅

グループホームの利用者数



出典: 第14回障害福祉サービス等 報酬改定検討チーム資料2 (R2.9.11)

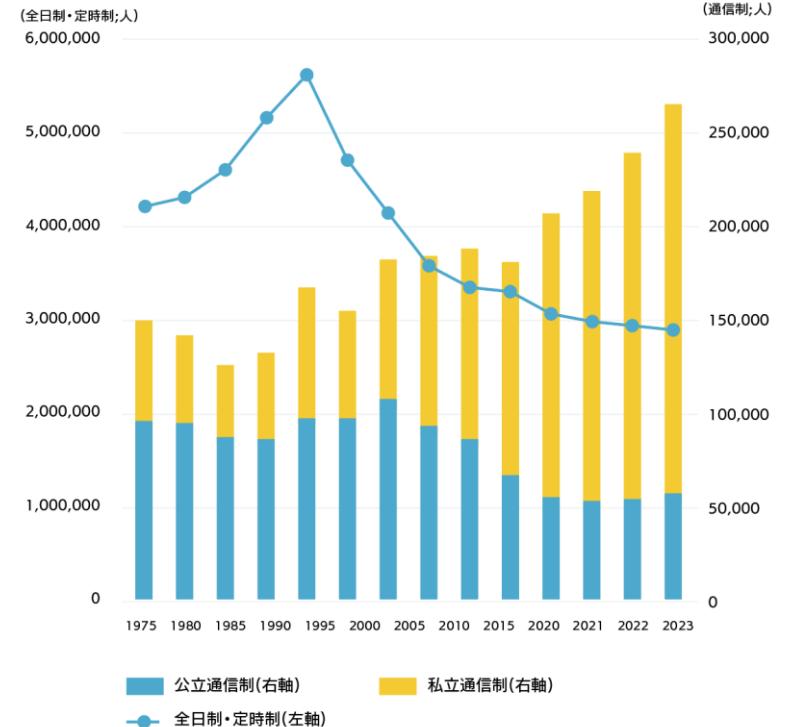


- 一人ひとりの個性に合わせた日常生活や学習・進路の支援を行うサポート校
- 「LITALICO高等学院」を2025年4月に開校

LITALICO 高等学院



通信制高校生徒数の推移

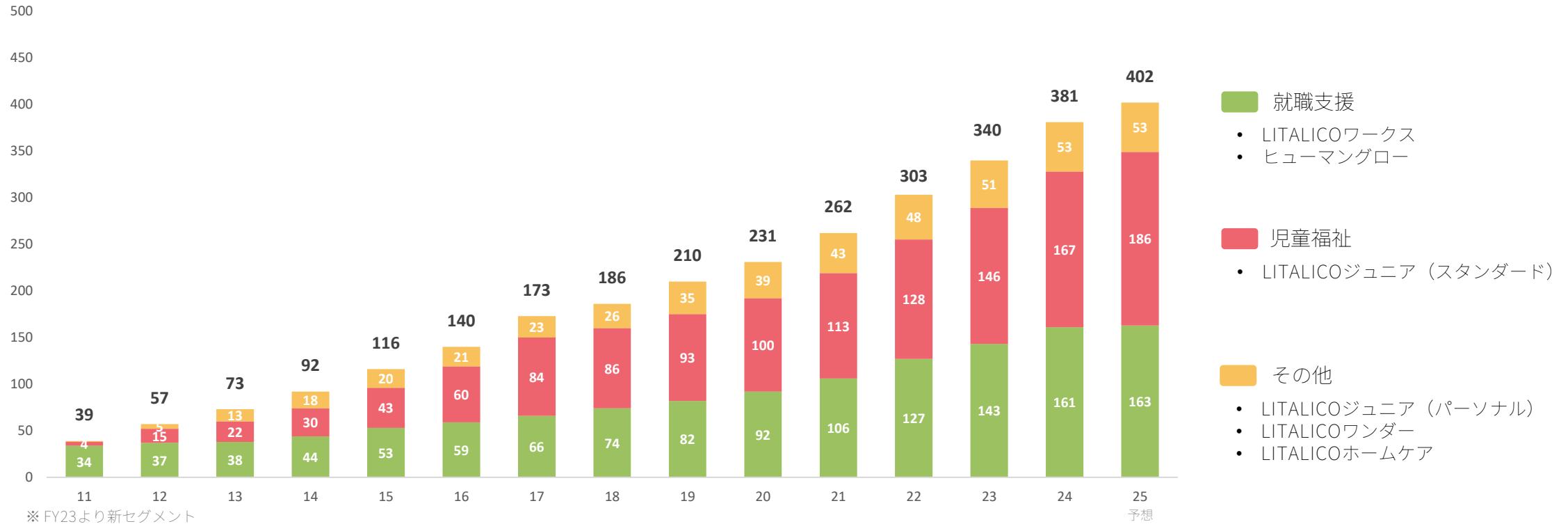


(出典)文部科学省「学校基本調査」

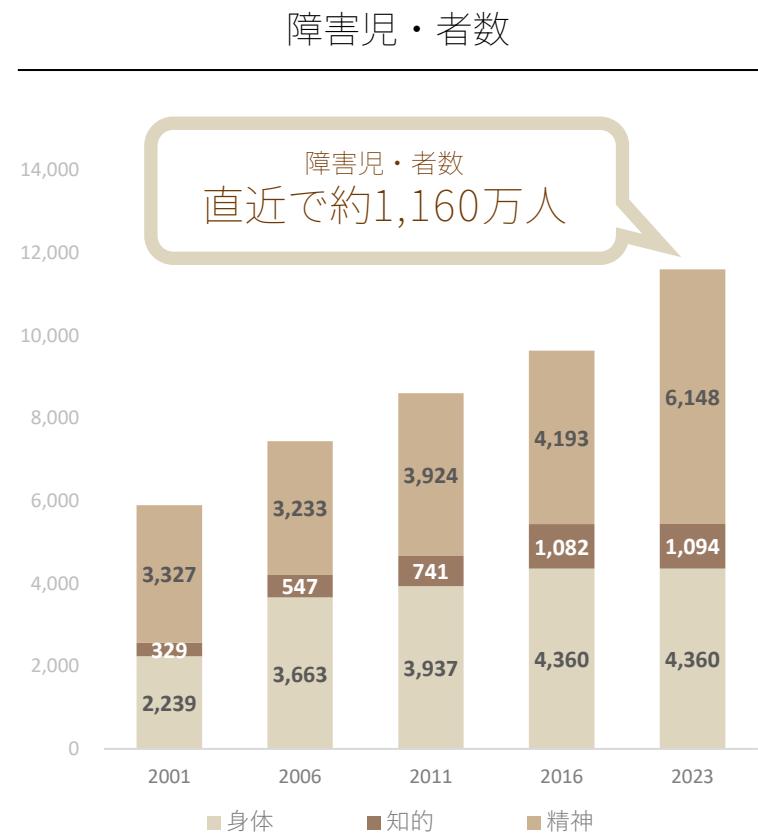
參考資料

Reference Material

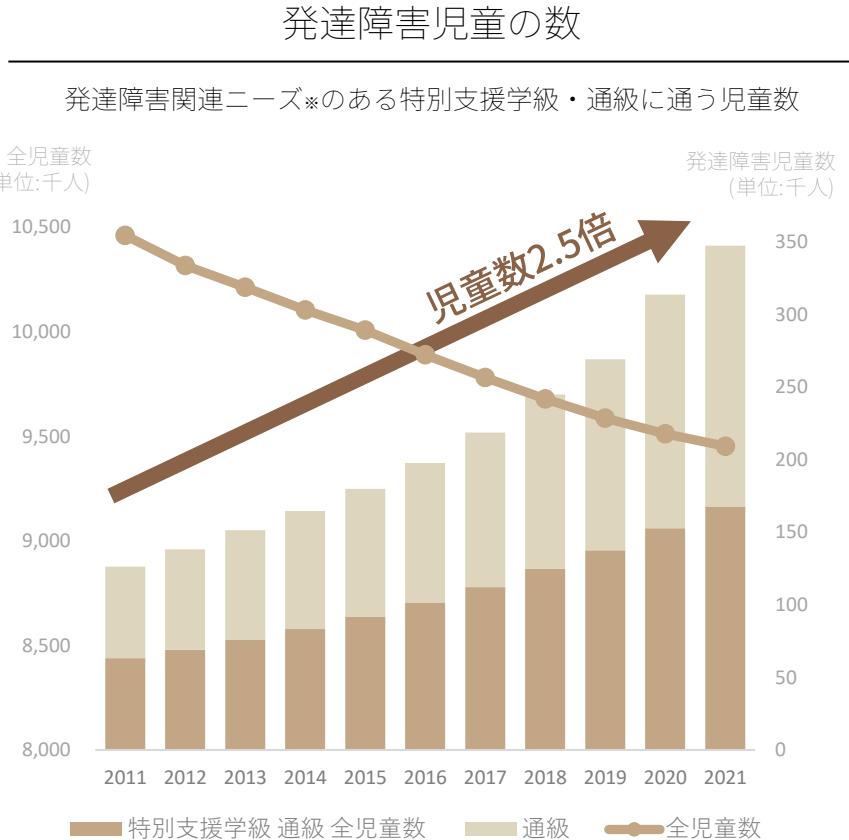
- FY2025に合計400施設を超える予定



- 障害者数は増加傾向、また特別支援学級や通級に通う児童数も増加



出典：内閣府「令和5年障害者白書」

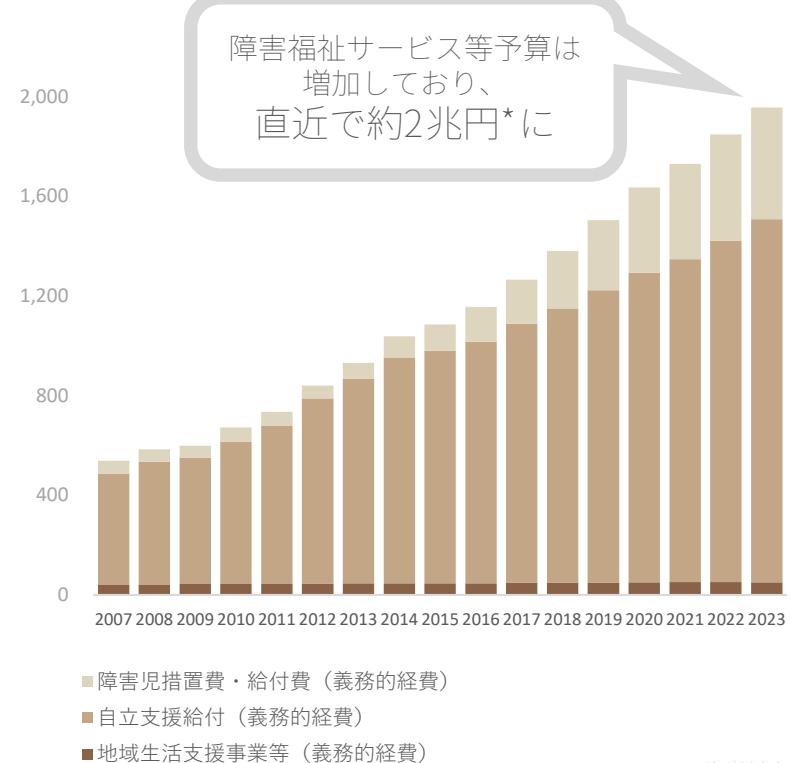


通級指導：障害のある生徒が通常学級に在籍しながら必要に応じて別室などで授業を受けること「注意欠陥多動性障害、学習障害、自閉症、情緒障害、言語障害」を「発達障害関連の教育ニーズがある」とした
出典：文部科学省「学校基本調査」「特別支援教育資料」

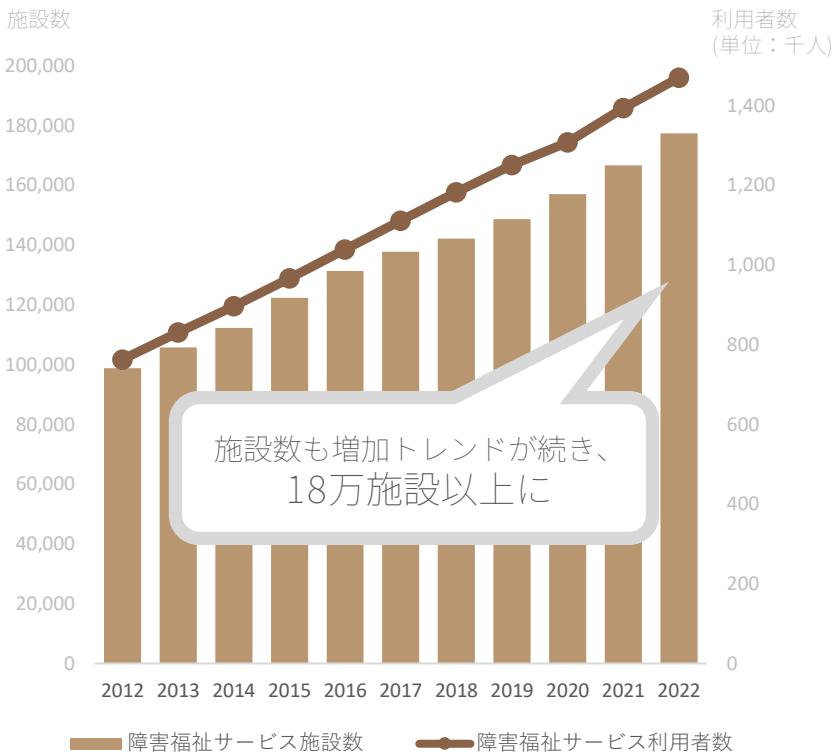
- 障害福祉サービス及び近接業界（医療、介護等）の市場規模は年々増加している

障害福祉サービス等予算の推移

*サービス費用全体の内、地方自治体及び自己負担分を除いた国の負担分



障害福祉サービス利用者数・施設数の推移



- 1回利用ごとの単価が設定されており、1割が自己負担、残りの9割が公費負担となっている



LITALICOワークスの報酬単価

就労移行支援事業

利用者1名あたり、定員20名

1年目：約8,800円/回

2年目：約8,800円～10,000円/回

3年目：約12,000円/回

※定着実績により年度ごとに報酬単価が変動

就労定着支援事業

利用者1名あたり、定員定めなし

約20,000円～30,000円/月

LITALICOジュニアの報酬単価

児童発達支援事業

利用者1名あたり、定員10名
約15,000円/回

放課後等デイサービス

利用者1名あたり、定員10名
平日：約9,800円/回
休日：約11,000円/回

保育所等訪問支援事業

利用者1名あたり、定員定めなし
約20,000円/回

※有資格者の配置状況により月次で報酬単価が変動

※仕組みをご理解いただくため、数字は概算値を使用

各施設の報酬単価の決定方法

成果に基づく報酬体系

行政が設定した特定の KPI（就職者数、等）
によって測定されるサービスの品質と成果に基づいて
報酬単価が決定

*報酬構造やKPIは各サービスごと異なります

施設ごとの報酬算定

法人単位では無く、各施設ごとの算定

報酬改定は3年ごと

2024年4月より新報酬

▶ 高い就職実績により、新規施設を除くほぼ全ての
LITALICOワークス施設は最高の基本報酬単価を
獲得している

就労移行支援事業の事例

就労移行支援事業の基本報酬単価

C. 就労定着率	D. 報酬単位
5割以上	1,210
4割以上5割未満	1,020
3割以上4割未満	879
:	:

(1単位 = 約10円)

計算方法

- 測定期間：過去2年間の合計
- KPI：就職者数、6か月以上の定着率
- 数式： C. 就労定着率 = B/A

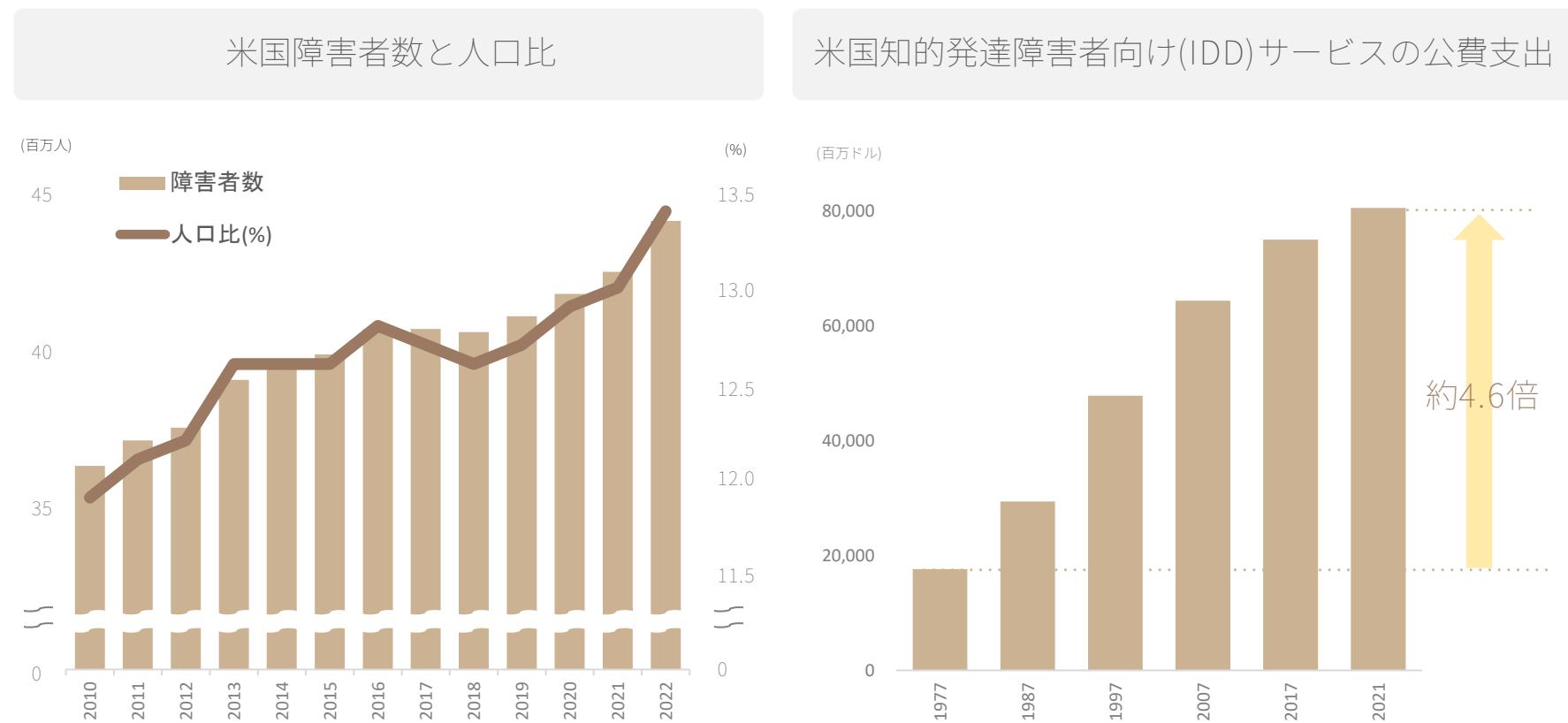
3年目以降

A. 定員数（2年分）：	40
B. 6か月定着就職者数：	28
C. 就労定着率：	71%
D. 基本報酬単価：	1,210

施設設立後、最高単価に到達するには最低2年が必要。
設立2年未満の施設の就労定着率は3割以上4割未満（879単位）が下限となる。

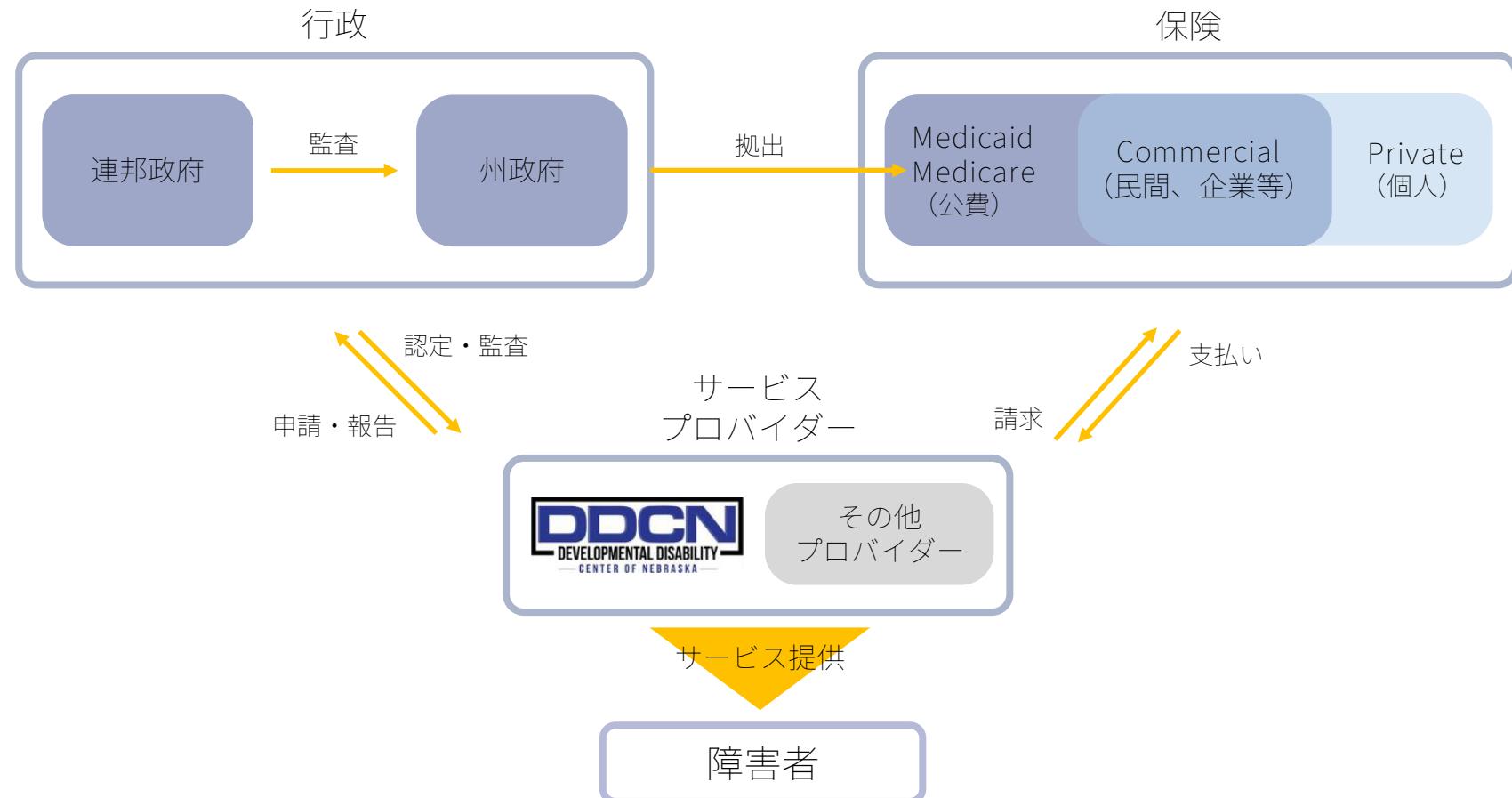
*最終的なサービス単価は上記の基本報酬に加え、地域加算などの特殊加算が更に追加される。

- ・米国における身体、知的、発達障害のある方や介護・自立支援を必要とする方は2022年のセンサス統計では約45百万人
- ・知的発達障害者向けサービス領域の支出においても増加傾向であり、2021年では約800億ドル



Ref : United States Census Bureau American Community Survey; Total civilian noninstitutionalized

* Ref: University of Kansas, Includes Waiver, ICF/ID & related Medicaid, non-Medicaid spending
* IDD: Intellectual and Development Disabilities



- ▶ DDCNで利用されているサービスはすべて公費

就労支援を通じた就職者数

- 2025年12月末： 1,964名

セグメント別の人員数

- 就労支援： 1,439名
- 児童福祉： 1,967名
- プラットフォーム： 424名
- 海外 241名
- その他： 824名

女性比率 (LITALICO単体)

- <人員数>
- 管理職： 36.3%
 - 管理職（※含広義の管理職）： 56.9%

<賃金差異>

- 全従業員： 90.8%
- 従業員（※除広義の管理職）： 98.9%

(※) 施設長、サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者等を含む管理職

児童福祉の利用者数

- 2025年12月末： 13,164名

LITALICOワンダーの利用者数

- 2025年12月末： 5,075名

NPSスコア※ (2025年3月末)

- LITALICOワークス： 13.0
- LITALICOジュニア： 19.9

※LITALICOのサービス全般に対しての全施設平均値

NPS: Net Promoter Score
顧客ロイヤルティを測る指標
[-100から+100] で高いほど良い

MSCI
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA AAA

2025年現在、MSCI ESG
格付けのAAを獲得。

THE USE BY LITALICO Inc. OF ANY MSCI ESG RESEARCH LLC OR ITS AFFILIATES ("MSCI") DATA, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT, RECOMMENDATION, OR PROMOTION OF LITALICO Inc. BY MSCI. MSCI SERVICES AND DATA ARE THE PROPERTY OF MSCI OR ITS INFORMATION PROVIDERS, AND ARE PROVIDED 'AS-IS' AND WITHOUT WARRANTY. MSCI NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI.

人事制度 (LITALICO単体)

- 年齢に関係なく、長く安心してお客様に向き合うため定年制を廃止
- より多様な働き方を自己選択できるよう、従来の週40時間勤務に加えて、週32時間、週35時間勤務制度を導入（124名の従業員が利用）
- 自由な働き方を推進するため育児休業中の兼業を解禁するなど、兼業制度を拡充（523名の従業員が利用）
- ライフサイクルに合わせた勤務に向けて、男性の育休取得を奨励（対象者の68%が育休を取得）
- 多様な家族のあり方に対応するため、パートナーシップ制度の対象を拡大し、同性パートナーに加えて事実婚の場合も忌引休暇や介護・育児休業等の対象